



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 CKD株式会社
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東・名

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 63,709 | 4.1 | 5,595 | △1.7 | 5,629 | △5.0 | 3,752 | △4.9 |
| 27年3月期第3四半期 | 61,198 | 11.4 | 5,689 | △0.3 | 5,923 | 1.5 | 3,944 | △1.8 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,509百万円(△29.3%) 27年3月期第3四半期 4,965百万円(△14.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 60.45 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 63.17 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 94,523 | 66,739 | 70.6 |
| 27年3月期 | 96,018 | 65,555 | 68.3 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 66,739百万円 27年3月期 65,555百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 11.00 | — | 13.00 | 24.00 |
| 28年3月期 | — | 13.00 | — | | |
| 28年3月期(予想) | | | | 13.00 | 26.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 88,000 | 5.5 | 8,000 | △4.3 | 8,000 | △8.4 | 5,500 | △8.5 | 88.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期3Q | 68,909,449株 | 27年3月期 | 69,429,349株 |
| 28年3月期3Q | 6,977,802株 | 27年3月期 | 6,977,294株 |
| 28年3月期3Q | 62,082,695株 | 27年3月期3Q | 62,452,339株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| 4. 補足情報 | 8 |
| 〔生産、受注及び販売の状況〕 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用と所得環境の改善により、消費マインドは持ち直しに向かいましたが、物価上昇に比べて個人所得の伸びが小幅にとどまったことや中国経済の下振れ、中東問題などから、先行きには不透明感が強まってまいりました。一方、企業業績は、円安などを材料とし、穏やかな回復基調で推移いたしました。

海外経済は、米国・欧州の、FRBの利上げを意識した金利の上昇や、難民流入などにより景気減速の懸念がありました。一方、新興国では、年後半にかけて中国経済の失速が顕在化し、原油など資源価格の大幅な下落も加わり、期待された経済成長に減速感が強まりました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高63,709百万円（前年同四半期比4.1%増）、損益面では、営業利益5,595百万円（前年同四半期比1.7%減）、経常利益5,629百万円（前年同四半期比5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,752百万円（前年同四半期比4.9%減）と、増収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、ジェネリック医薬品普及促進目標の引き上げに伴う設備投資により、受注は増加いたしました。しかし当第3四半期連結累計期間における納入物件が少なかったため、売上は減少いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機は、電子化が進む車載用基板向けや情報通信機器向けなどの売上が増加いたしました。一方、リチウムイオン電池製造システムは、当第3四半期連結累計期間の納入物件が少なく、売上は減少いたしました。

その結果、売上高は10,161百万円（前年同四半期比12.3%減）、セグメント利益は1,316百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、微細化や積層化メモリーなどへの投資が増加した半導体製造装置向け、環境対応や電子化が広がる自動車業界向け、中国で設備投資が活発化しているFPD製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、堅調な経済回復が続く米国、新たに販売拠点を開設したベトナム・インドネシアなどの売上が増加をいたしました。

その結果、売上高は53,547百万円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント利益は6,464百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,495百万円減少の94,523百万円となりました。これは主に、たな卸資産、有形固定資産及び投資有価証券が増加したものの、現金及び預金、売上債権並びに有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,679百万円減少の27,783百万円となりました。これは主に、賞与引当金及び預り金が増加したものの、仕入債務、借入金及び未払従業員賞与が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,184百万円増加の66,739百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加の70.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済は、当累計期間中に顕在化した中国を中心とした新興国経済の失速、資源価格の大幅下落、地政学的リスクの高まりなどにより、減速感が強まる懸念がございます。また、円安から円高への為替変動も、当社グループの業績に影響を与えるため、当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえ、平成27年5月12日に発表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたしました。

売上高88,000百万円（前回予想比変更なし）、営業利益8,000百万円（前回予想比11.1%減）、経常利益8,000百万円（前回予想比11.1%減）、当期純利益5,500百万円（前回予想比12.7%減）

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD.については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第3四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年12月31日までの12か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は3,019百万円、営業利益は149百万円、経常利益は141百万円、税金等調整前四半期純利益は130百万円であります。

また、セグメントに与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,750 | 9,668 |
| 受取手形及び売掛金 | 20,577 | 16,782 |
| 営業未収入金 | 1,938 | 1,496 |
| 有価証券 | 3,499 | 2,000 |
| 商品及び製品 | 4,363 | 5,977 |
| 仕掛品 | 3,229 | 3,503 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,712 | 12,271 |
| その他 | 3,468 | 3,922 |
| 貸倒引当金 | △33 | △85 |
| 流動資産合計 | 60,507 | 55,536 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 10,537 | 12,362 |
| その他(純額) | 14,313 | 15,001 |
| 有形固定資産合計 | 24,851 | 27,364 |
| 無形固定資産 | 817 | 690 |
| 投資その他の資産 | 9,842 | 10,931 |
| 固定資産合計 | 35,511 | 38,986 |
| 資産合計 | 96,018 | 94,523 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,924 | 10,129 |
| 短期借入金 | 1,921 | 1,731 |
| 未払法人税等 | 681 | 453 |
| 賞与引当金 | 138 | 1,042 |
| その他の引当金 | 271 | 223 |
| その他 | 8,232 | 6,941 |
| 流動負債合計 | 23,170 | 20,522 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,490 | 2,975 |
| その他の引当金 | — | 83 |
| 退職給付に係る負債 | 206 | 223 |
| その他 | 3,596 | 3,979 |
| 固定負債合計 | 7,292 | 7,260 |
| 負債合計 | 30,463 | 27,783 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,016 | 11,016 |
| 資本剰余金 | 12,737 | 12,372 |
| 利益剰余金 | 40,611 | 42,739 |
| 自己株式 | △4,557 | △4,893 |
| 株主資本合計 | 59,807 | 61,234 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,453 | 3,165 |
| 為替換算調整勘定 | 3,371 | 2,534 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △77 | △195 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,747 | 5,505 |
| 純資産合計 | 65,555 | 66,739 |
| 負債純資産合計 | 96,018 | 94,523 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 61,198 | 63,709 |
| 売上原価 | 42,785 | 43,741 |
| 売上総利益 | 18,412 | 19,967 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,722 | 14,372 |
| 営業利益 | 5,689 | 5,595 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24 | 31 |
| 受取配当金 | 90 | 114 |
| 為替差益 | 82 | — |
| その他 | 224 | 208 |
| 営業外収益合計 | 421 | 354 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33 | 37 |
| 売上割引 | 100 | 105 |
| 為替差損 | — | 133 |
| その他 | 53 | 43 |
| 営業外費用合計 | 187 | 319 |
| 経常利益 | 5,923 | 5,629 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 9 | 126 |
| 投資有価証券売却益 | — | 35 |
| 移転補償金 | 381 | — |
| 補助金収入 | — | 66 |
| 特別利益合計 | 391 | 228 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 7 | 8 |
| 固定資産除却損 | 165 | 94 |
| 環境対策費 | 185 | 83 |
| 特別損失合計 | 357 | 185 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,957 | 5,671 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,039 | 1,311 |
| 法人税等調整額 | 972 | 607 |
| 法人税等合計 | 2,012 | 1,919 |
| 四半期純利益 | 3,944 | 3,752 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,944 | 3,752 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,944 | 3,752 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 513 | 712 |
| 為替換算調整勘定 | 529 | △837 |
| 退職給付に係る調整額 | △22 | △117 |
| その他の包括利益合計 | 1,020 | △242 |
| 四半期包括利益 | 4,965 | 3,509 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,965 | 3,509 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式699百万円を取得し、平成27年7月27日に当該取得した自己株式の消却を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が335百万円増加し、資本剰余金が364百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動機械部門 | 機器部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,592 | 49,605 | 61,198 | — | 61,198 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | 129 | 129 | △129 | — |
| 計 | 11,592 | 49,735 | 61,327 | △129 | 61,198 |
| セグメント利益 | 1,425 | 6,211 | 7,636 | △1,947 | 5,689 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,947百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,971百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動機械部門 | 機器部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,161 | 53,547 | 63,709 | — | 63,709 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | 68 | 68 | △68 | — |
| 計 | 10,161 | 53,616 | 63,778 | △68 | 63,709 |
| セグメント利益 | 1,316 | 6,464 | 7,781 | △2,186 | 5,595 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,186百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,210百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD. については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第3四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年12月31日までの12か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は機器部門で3,019百万円、セグメント利益は機器部門で149百万円であります。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|----------|----------|------------|
| 自動機械部門 | 13,519 | +4.5 |
| 機器部門 | 53,489 | +8.1 |
| 合計 | 67,009 | +7.3 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高（百万円） | 前年同四半期比（%） | 受注残高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|----------|----------|------------|-----------|------------|
| 自動機械部門 | 14,122 | +8.7 | 12,518 | +32.0 |

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|----------|----------|------------|
| 自動機械部門 | 10,161 | △12.3 |
| 機器部門 | 53,547 | +7.9 |
| 合計 | 63,709 | +4.1 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。